

2017年(平成29年)11月15日 水曜日

## ゲーム開発全国大会

# 渡邊さん(徳島市立高2年)準優勝

東京のソフトウェア開発会社が高校生らを対象に開いたゲーム開発の全国大会「Unity(ユニティ)インターハイ2017」で、徳島県内からは徳島市立高2年の渡邊大誠さん(17)の作品が準優勝に入り、徳島科学技術高2年の3人が準優勝に次ぐ審査員特別賞を取った。

準優勝に輝いた渡邊さんは、「急がば旋(テ)ンポ良く敵を倒せて、2段階ジャンプや高速移動、爆弾投げなどのアクションが誰もが楽しめるゲームに仕上がってよかったです。」と会心の笑みを見せた。

渡邊さんの作品名は「急がば旋(テ)ンポ良く敵を倒せて、2段階ジャンプや高速移動、爆弾投げなどのアクションで敵を倒すたび、ショーンで敵を倒すたび、スピードを増して進んでいく。審査員から「なめらかな操作とゲームの難易度の調整が抜群だ」と評価された。

渡邊さんは高校の電子計算機部に所属。小学6年のときからゲーム作りを始め、独学で七つの対戦型ゲームなどを開発し、徹底して開発した。



ゲーム開発の全国大会で準優勝に輝いた渡邊さん(左)と審査員特別賞を受賞した徳島科技高生3人ーとくしま産業振興機構

3人は県とくしま産業振興機構が主催する「クリエイティブプログラマー養成講座」に参加。専門家のアドバイスを受け、約5カ月かけて

工開発会社の主催で、全国から65校の91チームが参加。14チームが予選を通過し、10月22日に東京で最終審査会が開かれた。

大会は東京のソフトウ

作った。「一人だつたら難しい作業も、皆で知恵を絞って作られたのがよかつた」と語った。

大会は東京のソフトウ

ア開発会社の主催で、

全国から65校の91チームが参加。14チームが予選を通過し、10月22日に東京で最終審査会が開かれた。

(高田麻衣)

## 科技高チームは特別賞